

## 令和 2 年度青森県内の消費生活相談受付状況について（概要）

## 【相談全体に関して】

- 消費生活相談件数は計 8,495 件で、前年度と比較して 214 件の減少（減少率 2.5%）しているものの、ほぼ前年並みの状況。

## 【特徴・変化】

- 前年度と比較して下記のような特徴・変化がある。

## ① 高齢者からの相談件数が減少傾向にあること

- ・ 65 歳以上の高齢者からの相談件数 2,850 件（▲404 件、減少率 12.4%）
- ・ 相談全体に占める割合 33.5%（← 前年度 37.4%）

⇒ 一方で、65 歳未満の世代の相談件数は増加傾向にあり、相談者の傾向が変化している。

65 歳 未 満 5,645 件（+190 件、増加率 3.5%）

## ② 特殊詐欺に関する相談件数は大幅に減少したが、3 月以降還付金詐欺が増加

- ・ 特殊詐欺に関する相談件数 548 件（▲465 件、減少率 45.9%）
- ・ 相談全体に占める割合 6.5%（← 前年度 11.6%）
- ・ ただし、還付金詐欺は今年 3 月以降増加傾向（44 件のうち 25 件が R3.3 月に発生）

## ③ 新型コロナに関連した相談や「新しい生活様式」への対応等に伴う相談が増加

保健衛生品（マスク・消毒液等）	599 件（+184 件、増加率 44.3%）
定期購入（健康食品・化粧品等）	743 件（+127 件、増加率 20.6%）
副業（登録料を支払ったが稼げない等）	141 件（+26 件、増加率 22.6%）

## ④ 電力小売自由化に関する相談が大幅に増加

電力小売自由化に関する相談	168 件（+118 件、増加率 236.0%）
うち 60 代以上の世代からの相談	107 件（全体の 63.7%を占める）

## 【新型コロナウイルス関連】

○ 新型コロナウイルスに関連した相談件数は計 547 件

- ・ 令和 2 年度の相談全体（8,495 件）に占める割合は、6.4%となっている。
- ・ 主な相談内容は、時期によって特徴がみられる。

**令和 2 年 5 月頃まで**

マスクが高額、入手困難。ネット通販で購入したマスクが届かない。  
宿泊料や結婚披露宴等のキャンセル料。

**令和 2 年 6 月頃～**

特別定額給付金関係のメールが届いた。  
クラスター発生したジム利用に係るキャンセル料。

**令和 3 年 2 月頃～**

副業サイトに登録料を払ったが収入を得られない。